～2024年5月号特集～
「第29回知的財産権誌上研究発表会」
論文大募集 ！

予告締切：1月22日、原稿締切：2月5日

応募資格	知的財産の実務、研究に携わっている方 （日本弁理士会会員に限りません。学生の方も大歓迎！） ※論文は未発表のものに限ります
テーマ	**知的財産の利用価値を最大限に引き出すための提案**

第２９回知的財産権誌上研究発表会は、読者からのコメントをフィードバックし、共に考えを深めようということを企画します。応募論文に対しては読者からのコメントを受け付け、２０２４年９月号の本誌にて掲載する予定です。投稿論文においては、論文本文に加えて、コメントフィードバックを希望する点を１～３点程付記してください。

今回は、「知的財産の利用価値を最大限に引き出すための提案」をメインテーマとして広く論文を募集します。特許・実用新案・意匠・商標に関することでもよいですし、著作権やその他の法律に関すること、契約・ライセンス・ビジネスに関することでもよいです。例えば、「スタートアップ・大学の知財エコシステム」、「オープンイノベーションに対応した知財」、「生成AI時代における知財のあり方」、「知財活用を支える制度・運用・人材基盤の強化」、「これからの弁理士のあり方や弁理士として実際に実行されていること」等に関する内容でも構いません。

- **字　　数**　14,000字まで厳守（引用部分、図表を含み、掲載時7頁以内を目安とする）
  電子ファイルにて入稿
- **応募予告**　２０２４年1月２２日（月）まで
  （予告は任意ですが、応募者多数の場合、応募予告者を優先します）
  下記論文提出先まで、以下の情報をお知らせください。
  ①論文の題名（仮題で可）
  ②発表者の氏名・住所・職業・資格・勤務先・連絡先（TEL/E-mail）
- **原稿締切**　２０２４年2月５日（月）
- **提 出 先**　日本弁理士会　広報室「パテント」担当
  TEL:(03)3519-2361　E-mail:patent-bosyuu@jpaa.or.jp
- **選考方法**　広報センター会誌編集部にて審査します。
  審査の結果、不掲載とさせていただくこともございます。

日本弁理士会 広報センター
（パテント編集責任者）
副センター長　高石　健二 ・ 加藤　佳史
会誌編集部長　岩田　高明